



森ボラ 通信

第108号 2011年5月20日発行

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel(fax):(011)816-7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

トピックス

◆ 小樽市総合博物館セミナーに参加して(小樽市にて・4月18日)

4月15日、趣味と実益と健康を兼ねてセミナーに参加しました。

総勢15名、4台の車に分乗して肌寒い早春の朝9時、宮の沢を出発し博物館到着後懐かしい切符型の入場券を貰い2階の特別展示会で学芸員の山本さん、小樽野草愛好会会長の北原武氏の説明を聞きながら赤岩自然探勝路のパネル展示を見学しました。周辺の野草が手作りの標本となって紹介され、子供の頃の植物採集を思い出しました。

ここで会長が樹木の冬芽を取り出し名前を教えてくださいました。花や葉があればすぐにわかる樹木も冬芽から判別するのは困難です。広葉樹はカバ、シナ、ナラ、カエデの4種類をマスターすれば山に入っても6、7割解るそうです。普段見慣れている木でもイザ名前となるとすぐ出てこなくていつもイマイましい思いをしているのです。対生、互生も逃しやすいものです。木でも花でも人でも名前を知ること世界が一気に広がります。名前が大事と孔子も言っています。

会場を旭展望台に移し、霞んだ小樽港を眺めつつあたりの樹木の観察会となりました。鳥の声を聞き多喜二の記念碑を見、シラカバ、クルミ、ミズナラ、ミズキ、ハリギリ、カエデなど地味で一番身近にあり知っているようで知らない関心の薄いものばかりです。ハンノキ、ウルシ、タモの類も澄川にはごろごろしています。早く覚えたいものです。

ここで北原会長と別れ、明治27年創業の老舗『一福』でランチタイム、その後南樽市場で地元の人々に混じり食材探しのあとここで解散となりました。

皆さんの日頃の博学ぶりに驚きながら楽しいセミナーの1日を過ごすことができました。企画運営された幹事さん、運転担当の方々大変お世話になり有難うございました。(記・加藤)

追記、「北原さんから頂いた冬芽20種類のパワーポイントスライドプレゼンテーションが出来ました(上記)」。



現場より

◆ 澄川活動報告・ナメコのほだ木作り(4月22日・参加者20名)

4月22日(金)は、20名のメンバーが集まり、なめこのほだ木作りです。あいにく、太陽は姿を見せなかったが、作業中には若干の汗をかく、十分な天候でした。

きのこは気象条件、害虫や有毒菌の影響を受けるだけでなく、生の木が持つ、木材腐朽菌の成長を防ぐ物質を取り除く乾燥が必要です。今回の原料木は1月から除間伐し、1メートルの長さで切断し乾燥させた、ミズナラを主体に、クリ、シラカバ等を活用した。今日は1メートルの原木に、8.5mmの「きのこキリ」を取付けた電動ドリルで、植菌用の穴を開ける。穴は縦に10センチ間隔で、細

い木(径6、7cm)は2列、太い木(径20cm)では6列程、互いに千鳥に配置して、木槌で駒菌(8000個)を埋め込む作業を行った。作業は、酒井さん、荻田さん、和田さんをリーダーに、3班で構成し、老体に優しい労働(安全)に気を配りつつ、適宜な休憩と作業のローテーションを取り入れた結果、雨天予報の翌日分も処理する、きわめて順調な進捗となりました。

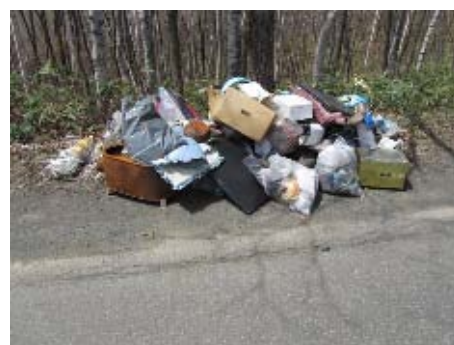


案の定、翌日は雨で作業は中止となりましたが、ナメコのほだ木にとっては恵みの雨となりました。本来なら仮伏せして適度な水分を与え菌の着床を促進させるのですがその作業が省けました。6月ごろにナメコ菌が好む適当に明るく、風通しの良い場所に本伏せも完了させ、来年秋の収穫を楽しみに待つばかりです。

なお、今回ナメコの駒菌を手配して頂いたうえ、温かく、美味しい味噌汁を作って頂き、我々の作業を支えてくれた湯澤さんに感謝、感謝です。(記・田山)

◆澄川活動報告・春の清掃活動を実施(5月12日(木)・参加者15名)

活動地に面した道路沿い約1kmの清掃活動を行ないましたが、不法投棄に抛るモラルの低さを感じながらの作業となりました。道端には生活臭のする空き缶、コンビニ弁当箱、家庭からや車から捨てられたビニール袋等が多く収集されました。チョット奥まった処には粗大ゴミが多く、処分場のターミナルのかの様に投棄されていて、全員で道路際まで引きずり出す作業に汗を流しながら、定期的に大掃除をすることによって少しでも不法投棄が減ればと思いながらの活動でした。今回のゴミの量はTV:7台、バッテリー:4個、タイヤ:4本、ホイール付タイヤ:4本、大型冷蔵庫:1台、その他ゴミとして1,280kg。札幌市豊平清掃事務所にゴミの搬出をして戴き綺麗な森を取り戻す事が出来ました。(記・市山)



◆澄川活動報告・リュバンドヌール様から今年も活動助成

(5月10日 澄川環境林 参加者15名)

リュバン・ド・ヌール様から今年も森林保全活動助成をいただき厚く御礼申し上げます。11名の会員の方が昨年6月末植栽のエゾヤマザクラの状況を見に来られました。今年は寒く開花はまだでした(注:5月14日には少し咲きました)。

環境林入り口のクズとニセアカシアの侵入地に7×10mの苗畑を設定して人力にてクズの根を掘り石をよけて客土と土壌改良剤を加えて苗畑を作りました。(5月12日種苗組合から御寄贈いただいた320本の広葉樹苗を植え、灌水当番を決めて管理しています。)(記・酒井)



◆樹液を楽しもう（澄川・3月と4月に樹液採取活動を実施）

メープルシロップ (maple syrup) は、サトウカエデなどの樹液を濃縮した甘味料。ホットケーキやワッフルにかけたり、菓子の原料として用いられる。シロップ (英語: syrup、オランダ語: siroop) は濃厚な糖液の総称でしばしば粘稠性を伴う。語源はアラビア語で「飲む」を意味する「シャラブ」と、これを基にしたラテン語の「シロプス」(siropus)に由来といわれる(シラップとも音訳される)。

白樺は海外では「パイオニアツリー」(先駆樹種)、「ナース・ログ」(森の看護婦)、マザーツリー(母なる樹)などと呼ばれ、神聖で神秘的に満ちあふれた樹として祀られてきました。これは山火事や伐採などで裸になった大地にまっさきに生え急成長する偉大な生命力をもった樹木で、1年で直径1cmも成長する事かららしい。北海道ではほぼ全域、本州では標高約900m~1,400mに分布、高原を象徴する樹木です。

北国の早春、自然からの最初の贈り物のシラカバ・カエデの樹液は古来よりフィンランド、ロシア、中国、韓国などの北方諸国で漢方薬や健康飲料として愛飲され、北海道でも先住民族であるアイヌの人々の間で広く用いられた。樹液の薬効は各国によって様々に言われていて、特に便秘・利尿作用によく効くようで、女性を中心に喜ばれた。それが最近の研究では、顔のシワの原因となったり、すい臓・肝臓・心臓などの細胞を破壊して生活習慣病を引き起こしたり、老化の原因となったりするスーパーオキシドラジカルアニオンをやっつける力が科学的に判明された様で化粧品にも利用されるようになった。一方で高血圧、痛風、胃炎、腎臓病、骨粗腫症などに効果があるとされ、また最近では、ストレスや疲労を和らげる効果も認められている。成分は、ブドウ糖や果糖などの糖分、アミノ酸、たんぱく質、そしてカルシウム・カリウム・マグネシウム・マンガン・鉄・亜鉛・銅などのミネラルです。そもそも樹液とは、樹木が必要とする成分を大地から吸い上げたものですから、ミネラルや栄養成分に富み、同じ生物である人間の細胞にとっても効果のある液体と言えるのではないのでしょうか。

幹に穴をあけ樹液を採ってしまったら、木が枯れてしまうのではないかと思われる方もいるでしょうが、その心配はまったくありません。水が必要となる芽吹き of 時期になると、穴から流れ出る樹液はぴたりと止まりその後、穴を木の栓でふさいておくと翌年までにはその穴はきれいにふさがってしまうのです。自然の恵みであるこの樹液は、生のままですと冷蔵庫でも2日くらいしか持ちません。それを過ぎると白く濁ってしまうのです。そこで加熱殺菌・濃縮をしてペットボトルで保存、または氷として100%天然の樹液を、皆さんもぜひ味わってみてください。

アミノ酸のグルタミン酸は、加熱することにより成分が5割程増加します。しゃぶしゃぶの水代わりに、樹液に浸して十分に吸い込ませたお肉で焼肉を。味の違いは歴然です。ご飯を炊くときの水代わりに使用すると、つやのあるご飯が出来上がります。焼酎の水割りや氷の代わりにご利用ください。(記・西野)



■ その他



コーヒー・紅茶に

樹液を使ってコーヒー、紅茶、ハーブティーを煎れると、今までとは一味もふた味も違う、とてもまろやかな味に。



オリジナルカクテルに

ウイスキー、ウォッカ、果実酒、焼酎などを樹液で割ると、体に染み込んでいくようなやさし〜い味のカクテルに。



凍らせて

樹液を凍らせて、ロックで飲むとゆっくりと樹液の甘味が溶け出して、ウ〜んなんとも言えぬ味わいに。樹液のアイスコーヒーもまたグッド、かき氷にしても楽しめま〜す。

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・酒井・高野・津金・釣井・西野(梯)・矢澤・和田
審議および決定事項

- 1 6、7月スケジュール調整
- 2 5月21・22日「CGCの森・オイスカ植樹祭」検討
- 3 各委員会事業報告(広報、業務、助成、研修・企画)
- 4 リュバン・ド・ヌール・協賛金と桜鑑賞会の報告
- 5 平成23年度「森のつみ木広場」の対応
- 6 東日本大震災支援活動・・・(義援金・33,064円)ご支援戴いた協会員の皆様に感謝いたします。
- 7 石狩地区森林ボランティア5団体交流会の中間報告

◆ 第9回総会

5月6日14時30分から第9回定例総会がリンケージプラザ第3研修室で開催されました。出席者31名。多忙で当日も総会かけもちの横山理事長には挨拶を頂戴して退席していただきました。

議長に選任された酒井専務理事により、議事が進行しました。今般の総会は議案に特別なものがないことで、議決権の確認が省略されました。議案の承認もすんなりなされ、かつてない穏やかなうちに終了しました。議事終了後に新体制紹介と新事務局長および各チームリーダーの抱負が述べられました。これを持ちまして昨年6月からリリーフしました前事務局長として役目を無事に終えましたことを喜びといたします。ご協力ありがとうございました。(記・高野)

■ お知らせ

◆ 《助成金報告》

- 1 「緑と水の森林基金」事業(公益社団法人)北海道森と緑の会
- 2 北海道応援基金助成制度(ニトリ北海道応援基金)
- 3 東洋ゴムグループ環境保護基金(公益財団法人)大坂コミュニティ財団

◆ 《苗木の寄贈》

北海道山林種苗共同組合を通して生産者の方から苗木を頂きました。

- (有) 南山林種苗農園様 (北斗市文月)
- (有) 石田農園様 (夕張群長沼町)
- (有) 樹薬種苗様 (北見市小泉)
- (有) リョクシン様 (中川郡幕別町新町)
- (有) 晴耕園苗畑 (河東郡音更町大通り)

有難うございました。今年度の協会植樹事業の中で大切に育林してまいります。

■ 活動履歴

| 活動日 | 行事・活動地 | 参加数 | 活動内容 |
|----------|---------------|-----|----------------|
| 4月19日(火) | 澄川 | 13 | 除伐 |
| 4月22日(金) | 澄川 | 20 | ナメコ植菌 |
| 4月23日(土) | 澄川 | 中止 | 雨天 |
| 4月25日(月) | 澄川 | 11 | 除伐 |
| 4月28日(水) | 有明第二 | 中止 | 悪天候 |
| 5月6日(金) | 札幌リンケージプラザ | 31 | 第9回定期総会 |
| 5月10日(火) | 澄川 | 15 | 歩道整備 |
| 5月12日(木) | 澄川・支笏湖 CGC の森 | 12 | 清掃活動、苗畑整備・植栽調査 |
| 5月14日(土) | 澄川 | 10 | 歩道整備、薪材整理 |
| 5月16日(月) | 5月幹事会 | 10 | 定例 |